



ニュージャーシー 補習授業校通信

土曜日は日本の教育を

人権について考えた中学生

五月十一日、稲田頼太郎先生からアフリカ、ケニアでのエイズ患者治療についてお話を伺った中等部2年生の感想を紹介します。人権の大切さが良く分かりました。目につかない場所で問題が発生しているんだなあと、「命の重さ」というあるはずのないものを初めて知りました。ニュージャーシー日本語補習校に来てくださったことをありがたく思います。

AIDS、HIVの深刻さ、そして生きる権利の大切さを学ぶことができました。

中等部二年一組 篠田 くるみ

リレーの練習で盛り上がる昼休み

初等部では運動会に向け、昼休みにリレーの練習で大変盛り上がっています。体育館を所狭しと力いっぱい走ります。バトンパスの順番を指示する先生は大忙し、走ってくる子



創作した事を発表する



ども達から、一瞬も目が離せません。

ここでは、五、六年生が大活躍、一、二年を励ましたり、列に並ぶのを手伝ったり、優しく、頼りになるお兄さん、お姉さんでした。

初等部五年二組では自分で創作した「春」を題材にした詩を発表する授業を行いました。写真が発表している様子です。どのような春を見つけて、どのよ

うな詩を書いたのでしょうか。授業を見て子ども達の創造力に驚きました。この授業では、保護者の皆様にもご協力いただき、子どもが捉えた春の画像を送っていただきました。詩と春の写真、両方が素晴らしい詩に込められた作者の意図がよりはっきりとしました。

初等部五年一組では、違った形で自分の考えたことを発表していました。漢字の成り立ちを学習する授業で、自分の考えた漢字を発表し、どの様の読むのか読み方を級友に出題する授業でした。津嘉山陽子さんが考えた漢字を皆さんはどう読みますか。(左上の文字)

温

は「おもてなし」と読むそうです。よく考えていると感心しました。

また、子ども達にとっても楽しい授業となりました。ご家庭でも、このような漢字クイズ作り等を親子で楽しんでみてはいかがでしょうか。漢字に対して新たな興味が生まれると思います。

第六号
令和元年
五月十八日
発行